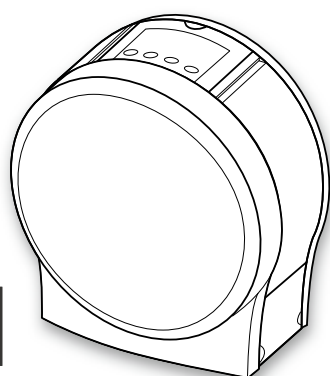
TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝加湿器 気化式（家庭用）

取扱説明書

形　名
KA-P70X
KA-P50X

日本国内専用
Use only in Japan

保証書付

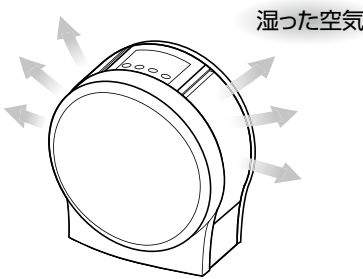
保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いておりますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびは東芝加湿器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

知っておいていただきたいこと

蒸気や霧は見えません

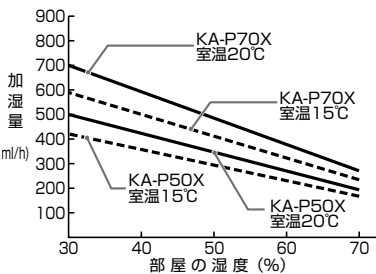
水を含ませた気化フィルターに風を当てて湿った空気を送り出す加湿方式（気化式）のため、スチームファン式や超音波式のように蒸気や霧は見えません。

吹き出す風が冷たい？

水が気化するときには熱が奪われるので、室温より低い温度の風が吹き出します。

湿度や温度によって加湿量が変わります

雨の日など湿度が高いときや、温度が低いときは、水が気化しにくいため加湿量が少なくなります。（タンクの水の減り方が遅くなります）
また、湿度が低いときは加湿量が多くなります。（タンクの水の減り方がはやくなり、連続加湿時間が短くなります）

部屋の湿度と加湿量

室温 20℃、湿度 30%、「連続」運転時タンク満水でKA-P70Xで約４時間、KA-P50Xで約５時間40分運転できます。

きれいな空気と水で加湿します

● **エアフィルター（抗花粉※1・ダニ※2・抗菌※3・防カビ※4フィルター）**
捕集したフィルター上の不快物質（花粉やダニの死がい）、菌やカビのはたらきを抑制する加工が施されています。

● **タンク（抗菌※7タンク）・タンクキャップ（抗菌※8タンクキャップ）**
抗菌加工を施し、タンク・タンクキャップの菌の繁殖を抑制します。

● **気化フィルター**
抗菌※5、防カビ※6加工を施し、気化フィルターに付いた菌の繁殖を抑え、ロータリー方式にすることによって、約10年（約120カ月）使用することができます。（1日8時間運転の場合）

● **抗菌ガラス※9**
トレイ内の菌の繁殖を抑制します。

ピコイオン運転について

ピコイオンユニットの電極ピンに高電圧をかけることによって、電極ピンの先端に集まった水を微細化させ、空気中に放出します。除菌※10・アレル物質（花粉※11・ダニ※12）を抑制します。

	※1	※2	※3	※4	※5	※6
試験機関	信州大学　繊維学部		一般財団法人　ボーケン品質評価機構		一般財団法人 カケンテストセンター	
試験方法	ELISA、SDS PAGEによる、植物花粉アレル物質タンパクの吸着及び変性試験	ELISA、SDS PAGEによる、動物性アレル物質タンパクの吸着及び変性試験	JIS L 1902に準拠	JIS L 1902 に準拠 カビ試験（ハロー法）	JIS L 1902 に準拠 菌液吸収法	JIS L 1902に準拠 カビ試験（ハロー法）
抗花粉・ダニ・抗菌・防カビの方法	エアフィルターに金属フタロシアニンを担持			不織布フィルタ材にピリジン系防カビ剤を担持	気化フィルターに抗菌加工	気化フィルターに防カビ剤を含浸
抗花粉・ダニ・抗菌・防カビを行っている対象部分の名称	エアフィルター				気化フィルター	
試験結果（試験番号）	植物花粉アレル物質タンパクを吸着・変性	動物性アレル物質タンパクを吸着・変性	99.9 %の抗菌効果を確認（026625-1, 026625-2）	カビ種について生育阻止帯ができるのを確認（003488-3）	99.9%の抗菌効果を確認（CK-12-004419）	防カビ効果を確認（HR-12-003131）

	※7	※8	※9	※10	※11	※12
試験機関	一般財団法人　新潟県環境衛生研究所			京都薬科大学　薬剤学教室		
試験方法	JIS Z 2801 に準拠		浸漬法により混釈平板培養法で菌数を計測	標準寒天培地表面塗抹法	1m³試験ボックス内でピコイオンユニットを作動させ、シャーレに塗布されたスギの花粉の作用をELISA法で測定	1m³試験ボックス内でピコイオンユニットを作動させ、シャーレに塗布されたダニの死がいと糞の作用をELISA法で測定
除菌・抗花粉・ダニ・抗菌の方法	タンクに抗菌加工	タンクキャップに抗菌加工	水溶性ガラスに銀を含有	水を微細化させ空気中に放出		
除菌・抗花粉・ダニ・抗菌を行っている対象部分の名称	タンク	タンクキャップ	抗菌ガラス	ピコイオンユニット		
試験結果（試験番号）	99.9 %の抗菌効果を確認（第200903679-001-MBA号）		99.9 %の抗菌効果を確認（第200903677-001-MBA号）	99.9%の除菌効果を確認（第120731-1号、第120731-2号）	抑制効果を確認（第120809-1号）	抑制効果を確認（第120809-2号）

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害・財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

表示の説明（取り扱いを誤った場合に生じる危害・損害の程度を示します）

警告 「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。	**注意** 「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明

図記号の中の絵や近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。	図記号の中の絵や近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

⚠警告

指示

●異常・故障時にはすぐに使用を中止する
（火災・感電・けがの原因）
すぐに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターに点検・修理をご依頼ください。

《異常・故障例》
- ●水漏れする
- ●本体が異常に熱かったり、こげくさかったりする
- ●異常な音や振動がする
- ●電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする

プラグを抜く

●転倒した場合は、すぐに電源プラグを抜く
（火災・感電・けがの原因）
本体が乾いてから使用してください。

●お手入れをするときや、持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜く
（感電・けがの原因）

分解禁止

●分解・修理・改造をしない
（火災・感電・けがの原因）
内部に電圧の高い部分があります。
修理はお買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

ぬれ手禁止

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
（感電・けがの原因）

禁止

●子供だけで使わせたり、幼児の手の届く場所では使わない
（感電・けが・やけどの原因）
特に乳幼児にはご注意ください。

●不安定な場所に置かない
（転倒したときや、傾斜した状態で運転した場合、水がこぼれる原因）

禁止

●電源プラグ・電源コードが傷んだり、熱くなったときや、コンセントの差し込みがゆるい場合は使わない
（火災・感電・けが・ショートの原因）
電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

●持ち運ぶときや収納するときに電源コードを引っ張らない
（火災・感電・ショートの原因）

●電源プラグ・電源コードを傷付けない
- ●加工しない
- ●熱器具に近づけない
- ●引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
- ●無理に曲げたり、ねじったり、束ねて通電したりしない

●コンセントや配線器具の定格を超えて使ったり、交流100V以外で使ったりしない
（火災・感電の原因）

指示

●電源プラグの刃や刃の取付面にホコリが付いた場合は、乾いた布で拭き取る
（絶縁不良による火災の原因）

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

指　示

●トレイの中の水を捨てるときは、タンク・トレイ・シャワーユニット・気化フィルターをはずしてから、トレイを傾けて水を捨てる
（本体から直接水を捨てると、内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因）
14ページ「トレイ」を参照してください。

●同じ場所で長期間使う場合は、ときどき製品下部や床を清掃する
（水がこぼれたまま放置した場合、床の腐食の原因）

水ぬれ禁止

●水につけたり、水をかけたりしない
（ショート・火災・感電の原因）

禁　止

●吹出口・吸気口やすき間にピン・針金などの異物を入れない
（感電・異常動作してけがの原因）
●トレイの中の水を飲まない
（健康に悪影響をあたえる原因）

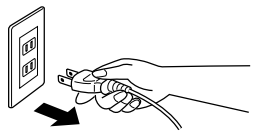
禁　止

●お手入れをするときは、塩素系・酸性の洗剤は使わない
（洗剤から発生する有毒ガスで健康を害する原因）

⚠注意

指　示

●電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

（電源コードを引っ張ると破損し、火災・感電の原因）

プラグを抜く

●使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く
（絶縁劣化による火災・感電の原因）

禁　止

●加湿された風が家具や壁などに直接当たるところに置かない
（シミが付いたり、変形する原因）
●暖房機・テレビなどの電化製品の上に置かない
（転倒したときなどに感電・ショートの原因）
●食品・医薬品・美術品・学術資料などの保存、業務用などの特殊用途には使わない
（保存品の品質低下の原因）

指　示

●持ち運ぶときは運転を止め、タンク・トレイの水を捨ててから、ハンドルを持って運ぶ
（水がこぼれて床をぬらす原因）
傾けたり、ゆすったりしないでください。
●タンクの水は毎日新しい水道水と入れ換え、本体内部は定期的にお手入れする
（お手入れをしないで使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因）
体質によっては、健康に影響があることがあります。異常を感じた場合は、医師に相談してください。

禁　止

●使用中や運転停止直後約10分間は、お手入れしない
（やけど・けがの原因）
●本体・タンクを落としたり、強い衝撃を加えたりしない
（本体・タンクが破損し、水漏れ・感電・ショート・発火の原因）
●本体内部に直接水を入れない
（感電・ショートの原因）
●吹出口・吸気口をふさがない
（変形・故障の原因）
●本体の上に乗らない
（けが・故障の原因）
●気化フィルター・エアフィルターを本製品以外の目的では使わない

お願い

使わないときはタンクとトレイの水を捨てる
水を入れたまま放置すると、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。

凍結のおそれがあるときは、タンクとトレイの水を捨てる
凍結すると故障の原因になります。

水道水（飲用）以外は使わない
40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・アロマオイル・よごれた水・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水・ミネラルウォーターなどを入れると、カビや雑菌が繁殖したり、変形や故障の原因になります。

直射日光の当たる場所や暖房機の近くに置かない
・タンク内の空気が膨張し、水があふれることがあります。
・プラスチック部分が変形、変質することがあります。

湿度の高い場所（85%以上）では使わない
・加湿のしすぎは、室内の結露やカビの原因になります。
・故障の原因になります。

温度・湿度を正しく検知するために、以下の場所で使用しない
・直射日光やエアコン・暖房機の温風が当たる場所
・窓際など外気の影響を受けやすい場所
・室内の温度が5℃～35℃でない場所

電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気が出る機器の近くに置かない
正常に動作しないことがあります。

エアフィルターをはずしたまま使わない
故障の原因になります。

ハンドル・タンクとってを持って本体・タンクを振りまわさない
破損、水漏れなどの原因になります。

定期的にお手入れする
お手入れをしないで使い続けると、本体内部に水あかなどが付いて取れにくくなります。
・カビや雑菌が繁殖することがあります。

ハンドルで指をはさまない
ハンドルを倒すときは、本体との間に指をはさまないように注意してください。

室内の湿度ムラをなくす
床付近と天井付近では温度・湿度が異なります。
サーキュレーター・エアコンなどを使って、室内の空気を循環させてください。

運転中に本体を持ち上げたり、向きを変えたりしない
故障の原因になります

仕様

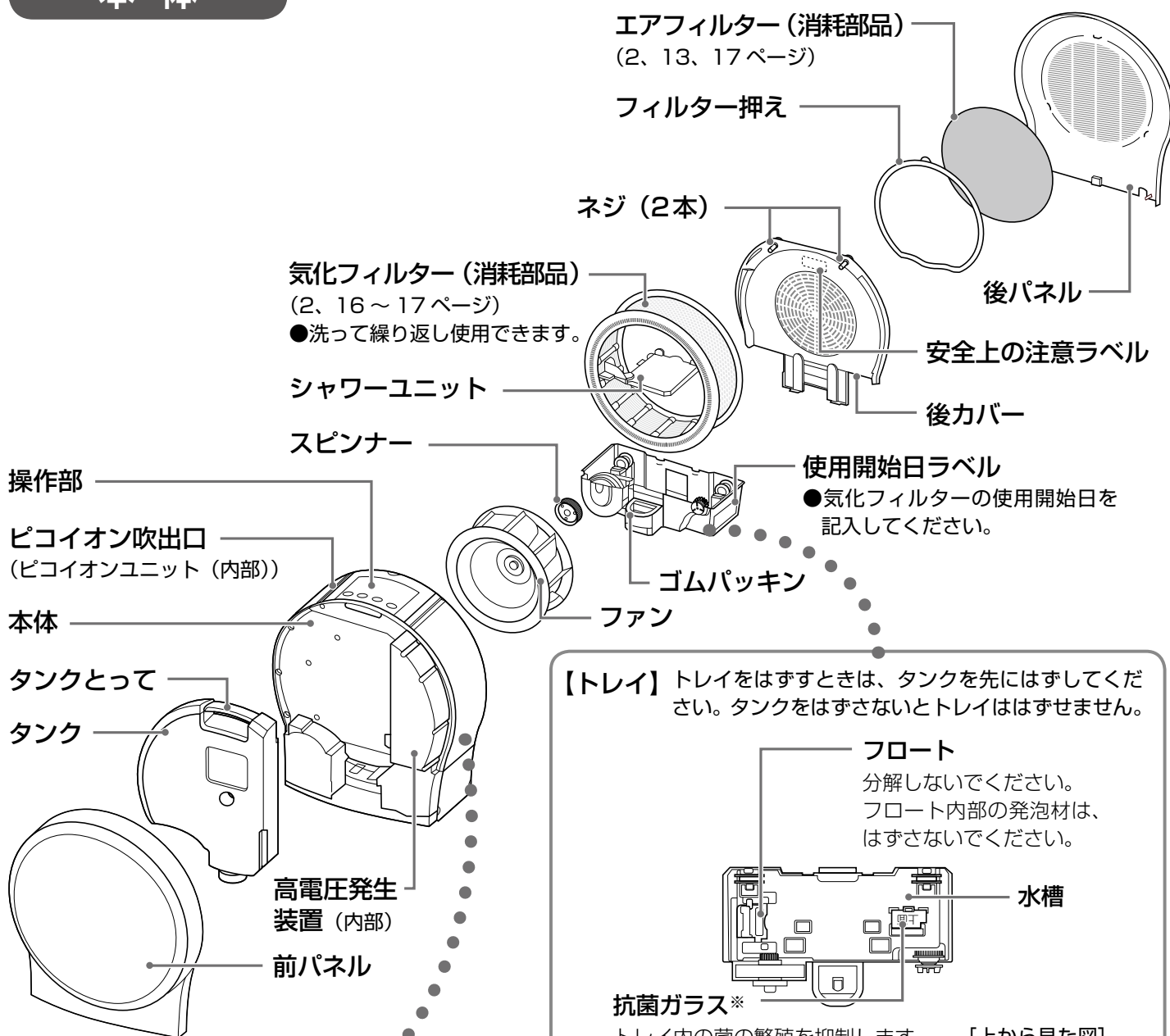
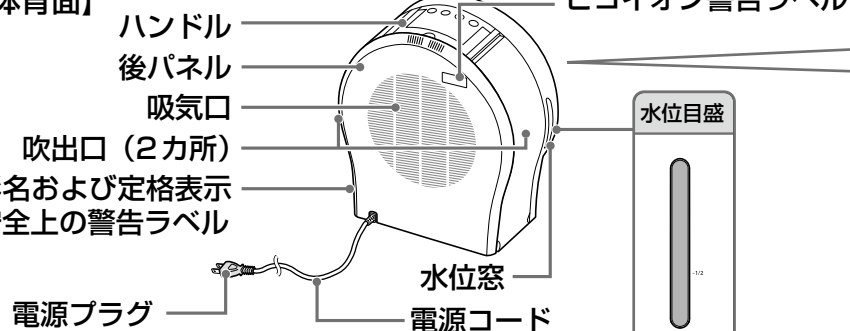
●運転停止状態の消費電力は約0.5Wです。

項目		KA-P70X	KA-P50X
形名		KA-P70X	KA-P50X
電源		交流100V　50/60Hz共用	
消費電力	「連続」運転	31/32W	19/22W
	「おやすみ」運転	7/8W	
加湿量※1	「連続」運転	約700ml/h	約500ml/h
	「おやすみ」運転	約200ml/h	約200ml/h
タンク容量		約2.8L	
連続加湿時間（目安）※2		約4時間	約5時間40分
適用床面積（目安）※3		木造和室～12畳（～20m²） プレハブ洋室～19畳（～32m²）	木造和室～8.5畳（～14m²） プレハブ洋室～14畳（～23m²）
外形寸法		幅約365mm×奥行約201mm×高さ約402mm	
質量		約6.1kg	
電源コードの長さ		約1.4m	
付属品		エアフィルター(本体装着)、気化フィルター(本体装着)	

※1、※2室温20℃、湿度30%の場合です。
※1室温・湿度によって加湿量が変わります。
　•室温が高い、または湿度が低いほど加湿量が多くなる。
　•室温が低い、または湿度が高いほど加湿量が少なくなる。
※2タンク満水で「連続」運転した場合です。
※3日本電機工業会規格（JEM1426）に基づいています。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

各部のなまえとはたらき

本体

エアフィルター（消耗部品）
（2、13、17 ページ）

フィルター押え

ネジ（2本）

後パネル

気化フィルター（消耗部品）
（2、16 ～ 17 ページ）
●洗って繰り返し使用できます。

安全上の注意ラベル

シャワーユニット

後カバー

スピンナー

使用開始日ラベル
●気化フィルターの使用開始日を記入してください。

操作部

ピコイオン吹出口
（ピコイオンユニット（内部））

ゴムパッキン

本体

ファン

タンクとって

タンク

高電圧発生装置（内部）

前パネル

【トレイ】 トレイをはずすときは、タンクを先にはずしてください。タンクをはずさないとトレイははずせません。

フロート
分解しないでください。
フロート内部の発泡材は、はずさないでください。

水槽

抗菌ガラス※
トレイ内の菌の繁殖を抑制します。

［上から見た図］

【本体背面】

ハンドル

後パネル

吸気口

吹出口（2カ所）

形名および定格表示
安全上の警告ラベル

ピコイオン警告ラベル

水位目盛

水位窓

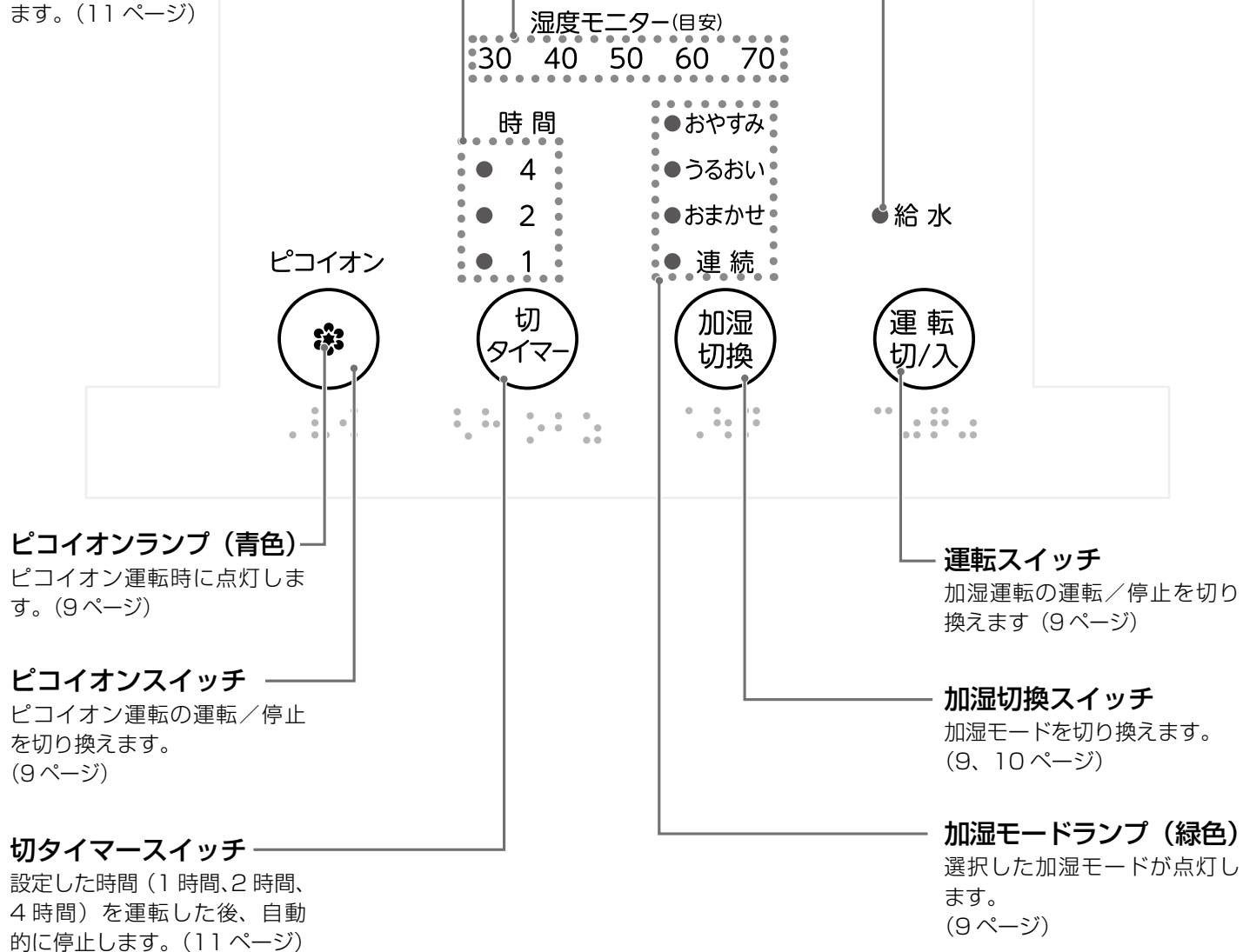
電源プラグ

電源コード

［後パネルをはずした図］

湿度センサー
部屋の湿度をはかります。
部屋の湿度の目安を湿度モニターで表示します。

※試験機関…………………一般財団法人新潟県環境衛生研究所	抗菌を行っている対象部分の名称……抗菌ガラス
試験方法…………………浸漬法により混釈平板培養法で菌数を計測	試験結果…………………………………99.9%の抗菌効果を確認
抗菌の方法………………水溶性ガラスに銀を含有	（試験番号）　（第200903677-001-MBA号）

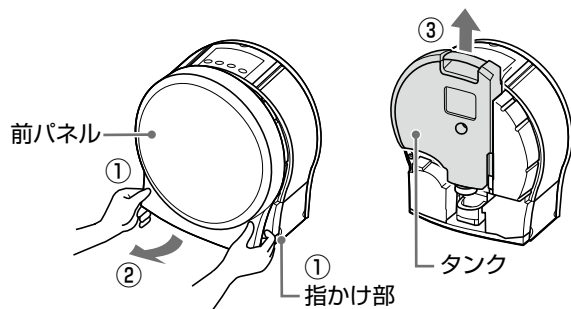
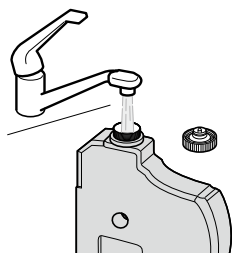
操作部

●各スイッチの近くに点字が付いています。

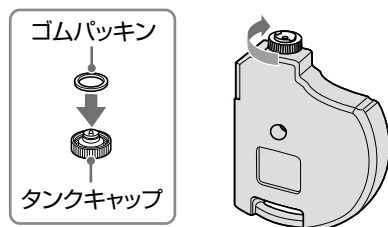
スイッチ名称	ピコイオン	切タイマー	加湿切換	運 転
点字				
読みかた	ピコ	キリタイマ	カシツ	ウンテン

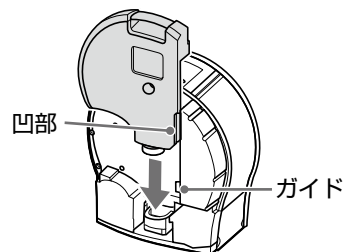
使いかた

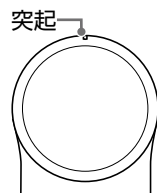
タンクに水を入れる

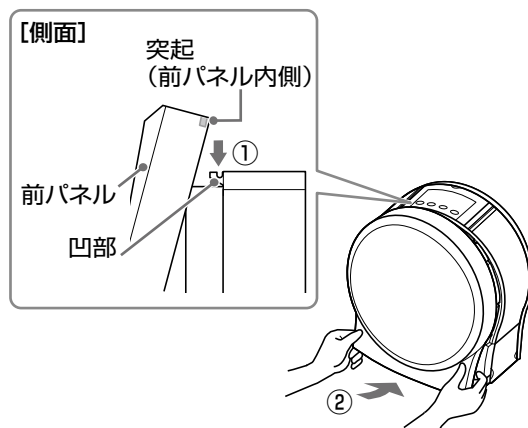
1 前パネルを本体からはずし、タンクをはずす

①本体下部の指かけ部に指をかける
②前パネル下部を手前に引く
③タンクをはずす

2 タンクを逆さまにしてから、タンクキャップをはずし、水道水を入れる

3 タンクキャップをしっかり閉める

- ●ゴムパッキンがタンクキャップの内側の溝に付いていることを確認してください。
- ●タンクキャップを下にした状態で、タンクキャップ周辺に水漏れがないか確認してください。
- ●タンクの表面に付いた水は拭き取ってください。

4 タンクキャップを下にして、タンクを本体に取り付ける

●タンクの凹部にガイドを合わせてください。

5 前パネルを本体に取り付ける

①前パネル上部内側の突起を凹部に入れる
（突起の位置を確認してから行ってください）

［前パネル裏面］

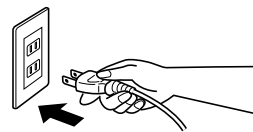
②前パネルの下部をカチッと音がするまで押す

お願い

● パネルはゆっくり着脱してください。（けがの原因）

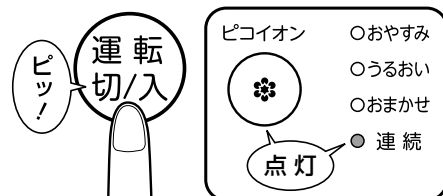
お願い

- ● タンクはゆっくり着脱してください。（水漏れの原因）
- ● タンクキャップは分解しないでください。
- ● 40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・アロマオイル・よごれた水・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水・ミネラルウォーターなどを入れないでください。
- ● 本体内部には直接水を入れないでください。
- ● 室温の低い部屋から高い部屋に加湿器を移動させたときや、温度の低い水を利用したときにタンクの表面が結露する場合があります。このような場合は拭き取ってください。
- ● タンクを落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。タンクの破損、水漏れなどの原因になります。

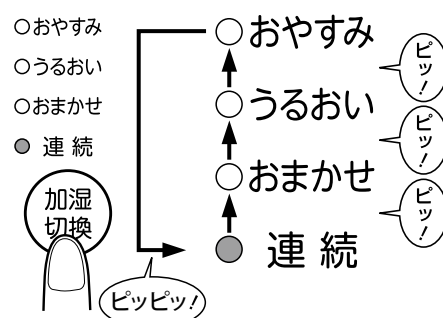
加湿運転のしかた

1 電源プラグをコンセント（交流100V）に確実に差し込む

2 （運転 切/入）を押す

▶加湿モードランプの連続（緑色）、ピコイオンランプ（青色）が点灯し、「連続」運転を開始すると同時に、ピコイオン運転も開始します。

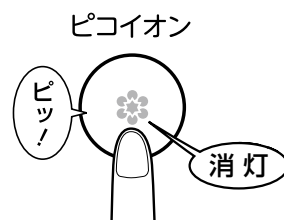
「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とブザーが鳴り、給水ランプ（赤色）が点滅したときは、11ページの「エラー検知について」をご覧ください。

加湿モードを「連続」以外にするときは

（加湿 切換）を押す

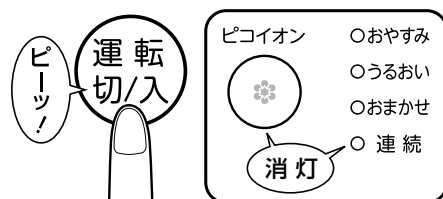
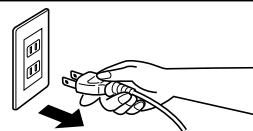
▶選んだ加湿モードランプ（緑色）が点灯し、加湿モードが「連続」→「おまかせ」→「うるおい」→「おやすみ」→「連続」…と切り換わります。

ピコイオン運転を止めるときは

（❀）を押す

▶ピコイオンランプ（青色）が消灯し、ピコイオン運転を停止します。
●もう一度ピコイオンスイッチを押すと、ピコイオン運転が始まります。
●ピコイオン単独運転はできません。

運転スイッチで「切」にした後、電源プラグを抜かずに「入」にすると、メモリー機能によってピコイオン運転は「切」にする前の状態になります。

3 運転を止めるときは

（運転 切/入）を押して「切」にする

▶設定した加湿モードランプ（緑色）が消灯します。ピコイオン運転している場合は、ピコイオンランプ（青色）が消灯し、ピコイオン運転も停止します。

4 電源プラグを抜く

タンクに水がなくなると

「ピー、ピー、…」とブザーが5回鳴り、給水ランプ（赤色）が点灯し、自動的に運転が止まります。

続けて使うとき

タンクに水を入れて本体にセットしてください。給水ランプが消灯し、自動的に再運転します。

お知らせ

●連続加湿時間の目安（室温20℃・湿度30%・タンク満水・「連続」運転の場合）
KA-P70X：約4時間
KA-P50X：約5時間40分

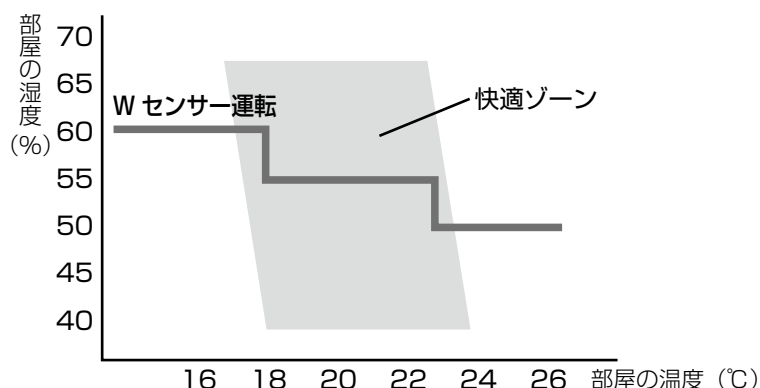
（つづく）

使いかた（つづき）

加湿切換について

●「連続」
部屋の乾燥が気になる場合
▶部屋の湿度に関係なく、連続（風量：大）で加湿します。

●「おまかせ」
快適な湿度を保ちたい場合
▶湿度と温度のＷセンサーがお部屋を快適な湿度に保ちます。

●「うるおい」
のどや肌の乾燥が気になる場合
▶湿度約65％で湿度コントロールします。

お知らせ

「おまかせ」「うるおい」運転の場合

- 騒音を抑えるために、加湿量（風量）を抑えて制御しているため、加湿量が少なくなります。（風量は、中・弱・微弱の３段の自動調節を行います）
- 部屋の湿度に関係なく運転開始から３分間は、「連続」運転（風量：中）で加湿し、その後、自動湿度コントロールが始まります。運転開始から３分未満であっても、加湿モードを切り換えた場合は、すぐに自動コントロールを行います。

●「おやすみ」
静かな音で運転したい場合
▶部屋の湿度に関係なく、微弱風量で運転します。（加湿量は少なくなります）
▶ランプの明るさが半減します。

お知らせ

- 適用床面積以内でも部屋の壁、床の材質、換気の度合い、外気の乾燥の程度によっては、設定した加湿モードの湿度に維持できない場合があります。
- 同じ室内でも空気の流れの状態によって湿度が異なることがありますので、部屋の湿度計と本製品の湿度モニターの表示に差が出る場合があります。
- 給水ランプが点灯、または点滅しているときは、運転スイッチ以外の操作は受け付けません。
  給水ランプが点灯しているときは、タンクに水を入れてから操作してください。給水ランプが点滅しているときは、後パネルを確実に取り付けてから操作してください。
- 運転スイッチで「切」にした後、電源プラグを抜かずに運転スイッチを押すと、メモリー機能によって、「切」にする前の加湿モードで運転します。（ただし、切タイマーは記憶されません）
- 運転中に停電した後や、電源プラグを差し直した後に運転スイッチで「入」にした場合、加湿モードは「連続」運転になります。

切タイマー運転のしかた

設定した時間を運転した後、自動的に運転を停止します。

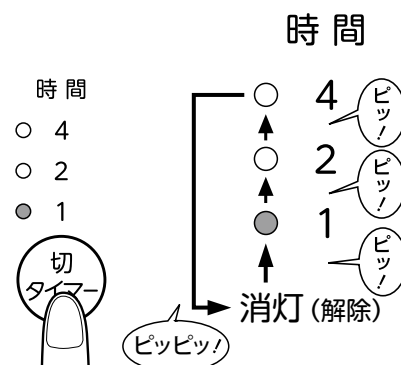
運転中に を押し、切タイマー時間を設定する

（1時間、2時間、4時間の設定ができます）

▶押すたびに切タイマーランプ（緑色）が右図の順序で点灯します。
▶時間の経過とともに切タイマーランプが切り換わり、残りの運転時間の目安を表示します。

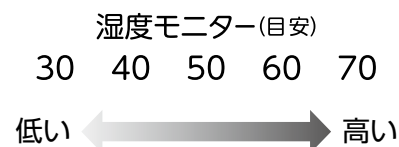
- 切タイマースイッチを押して切タイマーランプを消灯させるか、運転を止めると切タイマーは解除されます。

時 間
○ 4
○ 2
● 1
切
タイマー

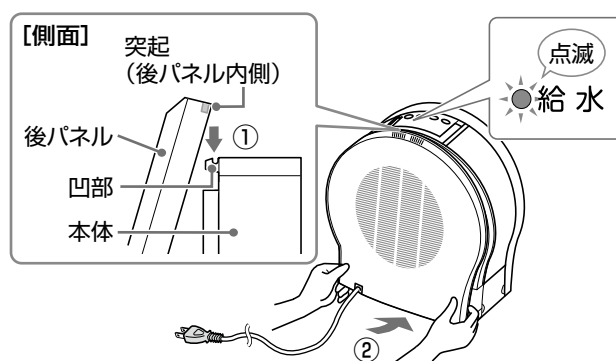
時 間
4 ピッ！
2 ピッ！
1 ピッ！
消灯（解除） ピッピッ！

湿度モニター（目安）の表示

部屋の湿度（目安）を点灯表示します。

- 湿度モニターは目安です。（40、50、60は緑色、30、70は赤色で点灯します）
- 同じ室内でも場所によって湿度が異なるため、部屋の湿度計と差が出ることがあります。
- 加湿運転中以外は表示されません。
- 運転開始から約30分間は、湿度モニターが部屋の湿度と異なる場合がありますが、徐々に室内湿度に近づきます。

湿度モニター（目安）
30　40　50　60　70
低い ⟷ 高い

エラー検知について 以下のようなときは、運転できません。（運転中は運転を停止します）

「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とブザーが鳴り、給水ランプが点滅しているとき

- 後パネルが確実に取り付けられていません。後パネルを確実に取り付けてください。（13ページ）

持ち運ぶときは

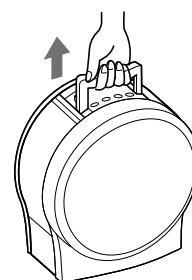
持ち運ぶときは運転を止め、タンク・トレイの水を捨ててから、ハンドルを持ってゆっくり運んでください。

- 水を捨てずに持ち運ぶと、傾いたときに水がこぼれることがあります。

お願い

- 水平な安定した場所に置いて使用してください。本体が転倒すると「ピー、ピー、ピー…」とブザーが鳴り、湿度モニターが点滅して運転が止まります。電源プラグを抜いてから、本体を起こしてください。こぼれた水を拭き、本体が乾いてから使用してください。（異常・故障の原因）

お手入れのしかた

⚠警告

プラグを抜く

●お手入れをするときや持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜く
（感電・けがの原因）

ぬれ手禁止

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
（感電・けがの原因）

禁　止

●お手入れをするときは、塩素系・酸性の洗剤は使わない
（洗剤から発生する有毒ガスで健康を害する原因）

⚠注意

禁　止

●使用中や運転停止直後約10分間は、お手入れしない
（やけど・けがの原因）

●お手入れのしかたに従ってお手入れをし、いつも清潔にお使いください。

手順

準　備
1.電源プラグを抜く

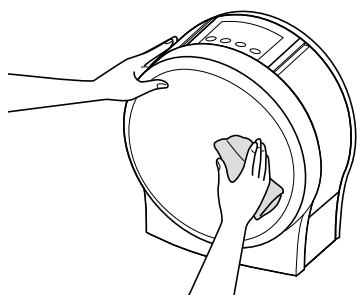
各部のお手入れ
説明に従って各部のお手入れをする

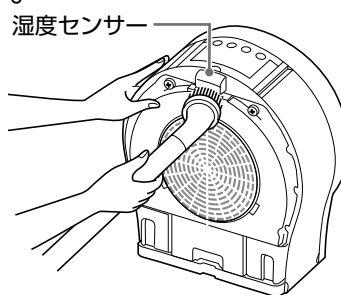
部品を元通りに取り付ける

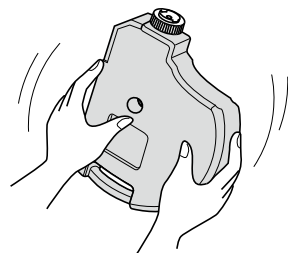
お願い

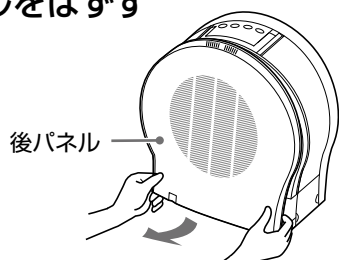
- ●本体と取りはずした部品（パネル、トレイ、タンクなど）の下には、やわらかい布を敷いてください。（床面を傷付ける原因）
- ●お手入れのときは、アルカリ性洗剤・クレンザー・シンナー・ベンジン・灯油・アルコール・ベンゾールなどを使用しないでください。（変質・変色・破損の原因）
- ●化学ぞうきんを使う場合は、その注意書に従ってください。
- ●タワシなどかたいものを使用しないでください。（傷付きの原因）
- ●お手入れした部品は確実に取り付けてください。部品がはずれてけがをするおそれがあります。
- ●部品をはずしたまま運転しないでください。（故障の原因）
- ●前パネル・タンクの取りはずしかた、取り付けかたは、8ページを参照してください。

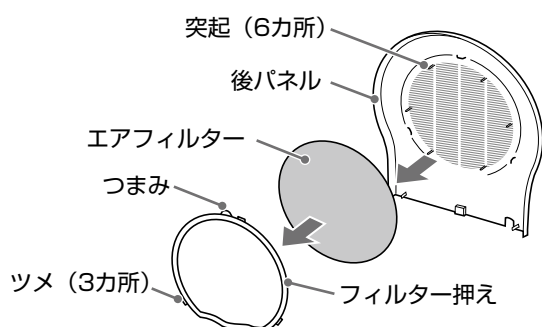
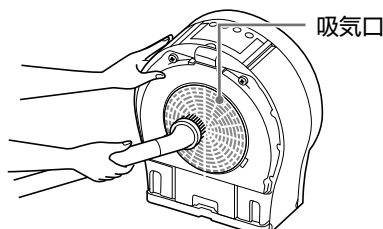
本　体（よごれたら）

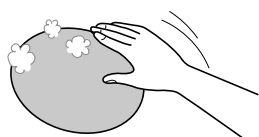
水で薄めた中性洗剤溶液に浸した布を絞って、よごれを拭き取ります。洗剤が残らないよう、水で絞った布で十分に拭き取ってください。

センサー穴部（1カ月に1回程度）

センサー穴部がよごれたり、目詰まりしたりすると、センサーの感度が不安定になります。センサー穴の表面のホコリを掃除機で吸い取ってください。

タンク内（給水のたび）

1. タンクに残っている水を捨てる
2. タンクに少量の水を入れ、タンクキャップを閉めて、よく振り洗いする
3. タンクの水を捨てる
   ●2～3回繰り返してください。

エアフィルター（1週間に1回程度）

1 後パネルをはずす

2 フィルター押えをはずして、エアフィルターを取り出す

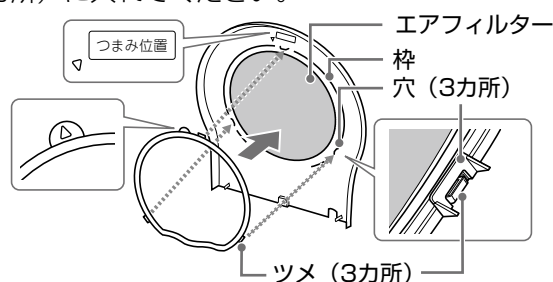
●フィルター押えのつまみを引いて、ツメ（3カ所）をはずしてください。

3 吸気口のホコリを掃除機で吸い取る

4 エアフィルターのホコリを取る

●かるくたたいてホコリを取ってください。

お願い

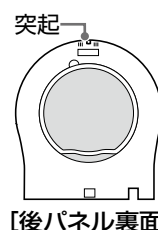
●エアフィルターの効果が弱まるため、水洗いしないでください。

5 エアフィルターを後パネルに取り付け、フィルター押えを取り付ける

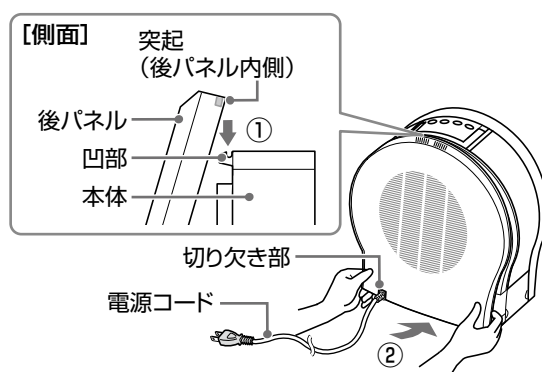
●エアフィルターを後パネルの枠に合わせて取り付け、ズレ防止の突起（6カ所）に差し込んでください。

●つまみの △印とパネルの ▽印を合わせて、フィルター押えのツメ（3カ所）を後パネルの穴（3カ所）に入れてください。

6 後パネルを本体に取り付ける

①後パネル上部内側の突起を、本体の凹部に入れる（突起の位置を確認してから行ってください）

[後パネル裏面]

②後パネルの下部をカチッと音がするまで押す

●後パネルの切り欠き部に電源コードを通してください。

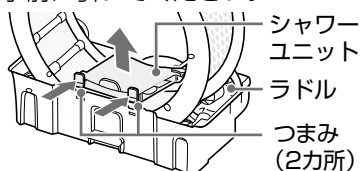
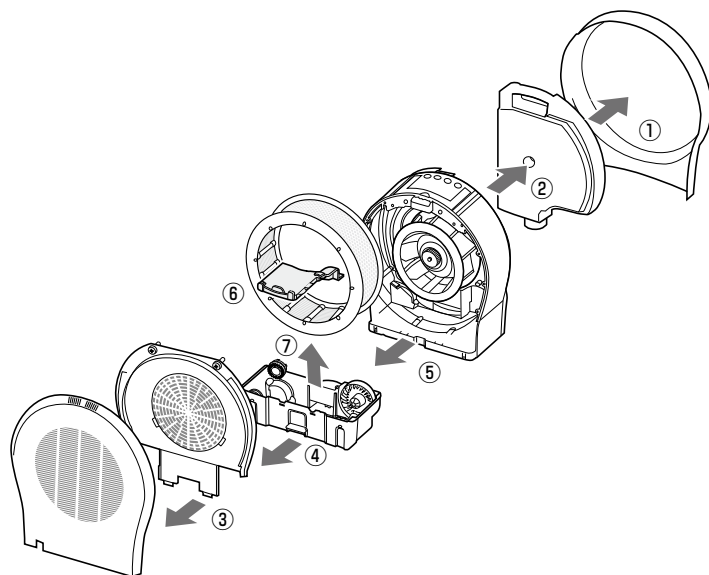
（つづく）

お手入れのしかた（つづき）

トレイ（2週間に１回程度）

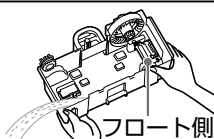
1 トレイをはずす

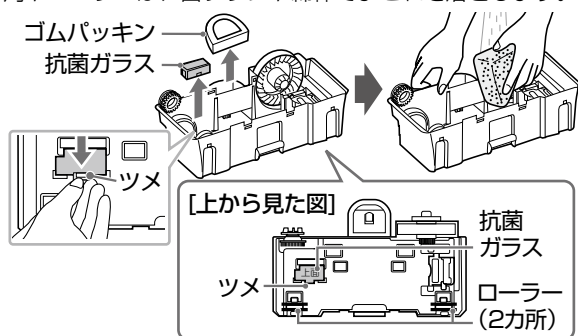
①前パネルをはずす
②タンクをはずす
③後パネルをはずす
④後カバーをはずす
- ネジ（2本）をゆるめてはずしてください。
- 脱落防止のため、ネジは抜けません。
- プラスドライバーまたはコインを使うと便利です。

⑤トレイをはずす
- タンクを先にはずしてください。タンクをはずさないとトレイははずれません。

⑥シャワーユニットをはずす
- つまみ２カ所を同時に指ではさんで持ち上げ、手前に引いてください。

⑦気化フィルターをはずす
- 気化フィルターから水がたれてくるので注意してください。

お願い
- トレイはゆっくり着脱してください。（けが・水漏れの原因）
- トレイを出し入れするときは、底面部で床面を傷付けないように注意してください。

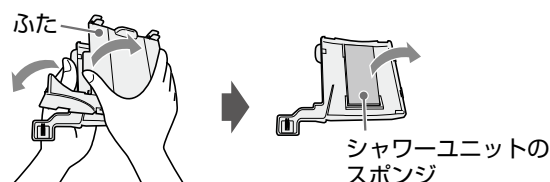
2 トレイの中の水を捨てる

- 図のようにトレイを傾けて、水を捨ててください。

3 抗菌ガラス※・ゴムパッキンをはずし、トレイを水洗いする

- トレイのツメを少し引いて、抗菌ガラスをはずしてください。
- 角やローラーは、歯ブラシや綿棒でよごれを落とします。

4 抗菌ガラス※・ゴムパッキンを水洗いし、セットする

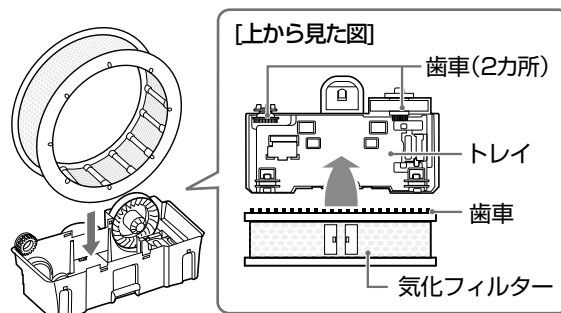
- ゴミなどを洗い流してください。
- 抗菌ガラスは「上面」の文字を上にしてセットしてください。
- ゴムパッキンは補強板をはずして水洗いし、元に戻してセットしてください。（補強板に裏表はありません）
  ゴムパッキンは切れないように、ていねいに洗ってください。

5 シャワーユニットを水洗いする

①シャワーユニットのふたを開け、シャワーユニットのスポンジを取りはずす

②シャワーユニットを水洗いする
- シャワーユニットのスポンジは、水で軽くもみ洗いしてください。

③シャワーユニットのスポンジをシャワーユニットにはめ込み、ふたを閉める

6 トレイに気化フィルターを取り付ける

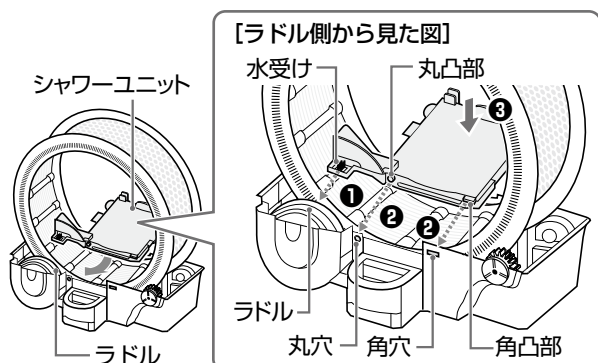
①気化フィルターの歯車をトレイの歯車（２カ所）に合わせて、セットする

②シャワーユニットを取り付ける

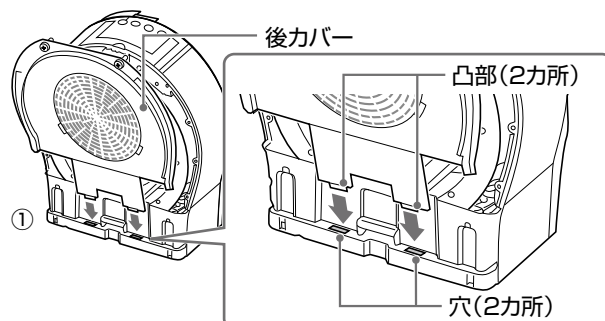
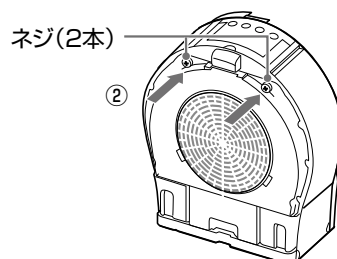
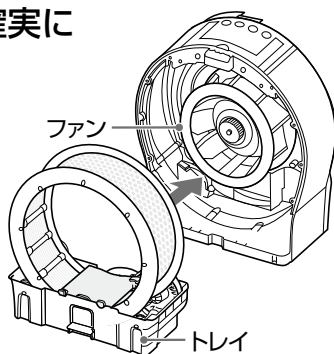
❶シャワーユニットの水受けをラドルの内側に入れる
❷丸凸部と角凸部をトレイの丸穴と角穴に差し込む
❸つまみ側を押し込む

7 後カバーや本体内側のよごれを拭き取る

● 12ページ「本体（よごれたら）」を参照してください。

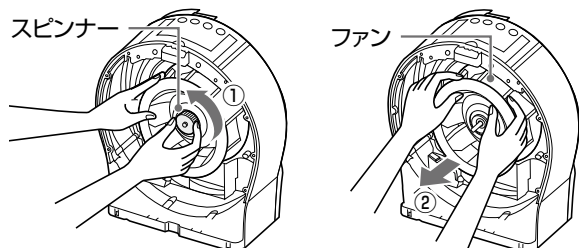
8 本体にトレイを確実に取り付ける

●取り付けが不完全な場合、給水ランプが点灯します。
●気化フィルターの向きが合っていないと、本体にトレイを確実に取り付けられません。

9 後カバー、後パネル、タンク、前パネルを取り付ける

①後カバーの凸部（2カ所）を本体下部穴（2カ所）に差し込む

②ネジ（2本）を締める

③後パネルを取り付ける
● 13ページ「エアフィルター」を参照してください。
④タンク、前パネルを取り付ける
● 8ページ「タンクに水を入れる」を参照してください。

ファン（1カ月に1回程度）

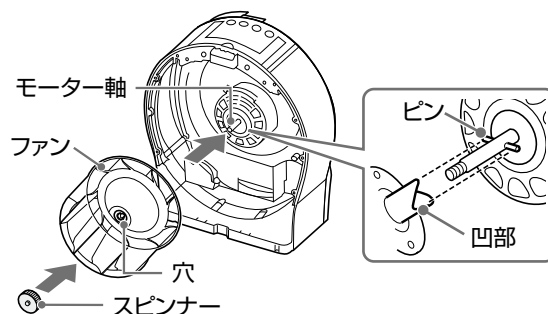
1 前パネル・タンク・後パネル・後カバー・トレイをはずす（8、13、14ページ）

2 ファンを取りはずす

①スピンナーを左方向に回してはずす
②手前に引くようにして、ファンをはずす
●本体が倒れないように注意してください。

3 ファンのよごれを水で絞った布で拭き取る

●ファンのよごれが取れにくいときは、水洗いし、水分をよく拭き取ってください。ファンの中心の穴も水分が残らないように、綿棒などでよく拭き取ってください。

4 ファンを取り付ける

①モーター軸のピンにファンの凹部を合わせて差し込む
②スピンナーを右方向に回して締め付ける

5 トレイ・後カバー・後パネル・タンク・前パネルを取り付ける（8、13、14、15ページ）

※試験機関……一般財団法人新潟県環境衛生研究所 試験方法……浸漬法により混釈平板培養法で菌数を計測 抗菌の方法……水溶性ガラスに銀を含有	抗菌を行っている対象部分の名称……抗菌ガラス 試験結果……99.9%の抗菌効果を確認 （試験番号）（第200903677-001-MBA号）

（つづく）

お手入れのしかた（つづき）

気化フィルター（3カ月に1回程度）

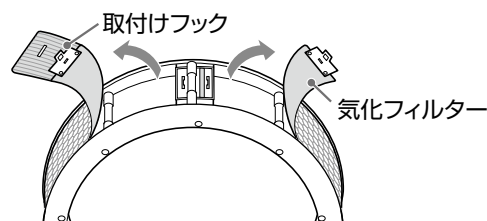
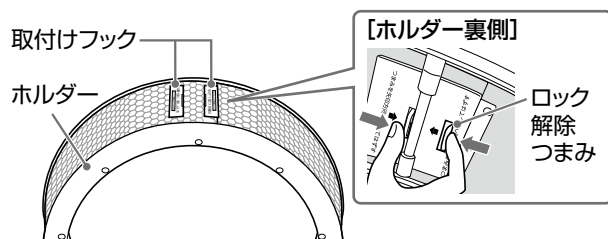
- 気化フィルターは、すべての菌やカビの繁殖を抑制するものではありません。
- よごれが付くと抗菌・防カビ効果が弱まります。抗菌・防カビ効果が長持ちするように3カ月に1回程度のお手入れをおすすめします。
- 使い続けるうちに、トレイ内部や、気化フィルター表面に白、または茶色の水あかが付きます。お手入れをしないで使い続けると、水あかが固まって取れにくくなり、加湿量が低下します。
- 水質によっては、水あかが付きやすい場合があります。このような場合ははやめにお手入れしてください。

1 トレイをはずし、ホルダー（気化フィルター）をはずす

- 14ページ「トレイ」を参照してください。

2 ホルダーから気化フィルターをはずす

①ホルダー裏側のロック解除つまみ（2カ所）を矢印の方向へ押し、取付けフックをはずす

②古い気化フィルターをはずす

3 水、またはぬるま湯で押し洗いする

- ホルダーは、水洗いしてください。

においが取れにくいとき

1 水、またはぬるま湯（約40℃）に台所用合成洗剤（粉末）を溶かして、つけ置き洗いする

- 台所用合成洗剤（粉末）使用量：洗剤容器の表示に従ってください。
- つけ置き時間：約1時間

よごれが取れにくいとき

1 ぬるま湯（約40℃）にクエン酸を溶かして、つけ置き洗いする

- クエン酸使用量:1L当たり約10g（小さじ2杯）（濃度が高いと破損の原因になります）
- つけ置き時間：約1時間（お湯の温度は徐々に下がりますが、お湯は加えないでください）

2 きれいな水ですすぎ洗いする

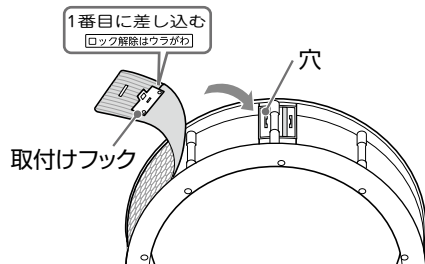
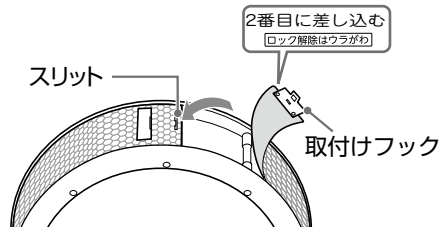
- 水を入れ換えて、においがなくなるまで2～3回繰り返します。

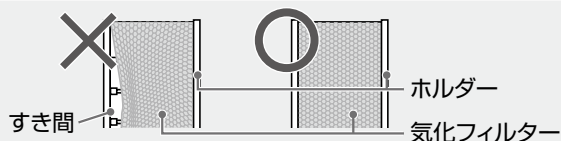
すすぎを十分にしないと、洗剤やクエン酸のにおいが発生したり、故障の原因になったりします。

お願い

- 気化フィルターを強く引っ張ったり、絞ったりしないでください。
- 気化フィルターを洗濯機で洗わないでください。気化フィルターが破損したり、洗濯機の故障の原因になります。
- クエン酸を使う場合は、換気扇に近いところで、換気をしながら行ってください。
- クエン酸が入手できない場合は、お買い上げの販売店でお買い求めください。（部品名：ポット洗浄クエン酸/部品コード：32389024）
- クエン酸は、食品添加物のため食品衛生上無害ですが、幼児の手の届かないところに保管してください。

4 水分を拭き取り、ホルダーに気化フィルターを取り付ける

③交換用気化フィルターの取付けフック（「1番目に差し込む」と刻印のある方）を穴に差し込む

④取付けフック（「2番目に差し込む」と刻印のある方）を気化フィルターのスリットに差し込み、ホルダーの穴に固定する

お願い

● ホルダーと気化フィルターの間にすき間ができないように、取付けフックをホルダーの穴に確実にはめ込み、取り付けてください。水漏れや気化フィルターの損傷の原因になります。

5 トレイにセットし、本体に取り付ける

気化フィルター（交換時期）

気化フィルターは消耗部品です。約10年（約120カ月）を目安に交換してください。（1日8時間運転の場合）
※使用状況によっては、寿命がはやまることがあります。定期的なお手入れが必要です。

次のような場合には、目安に関係なく交換してください。

● お手入れしても、においや水あかが取れない。
● お手入れしても、運転時にタンクの水の減りが少ない。
● 気化フィルターの傷みや形くずれがひどい。

お願い

● 交換方法は、16～17ページ、または交換用の気化フィルター取扱説明書を参照ください。
● 気化フィルターを廃棄する場合は、お住まいの地域のゴミ分別方法に従ってください。
● 気化フィルターの材質：ポリエステル

消耗部品（お買い上げの販売店でお買い求めください）

お手入れをしてもよごれが落ちなくなったり、破損したりした場合は交換してください。

形　名	東芝加湿器用気化フィルター
KA-P70X	KAF-15
KA-P50X	KAF-15

●約10年（約120カ月）（地域の水質によって極端に変化します）を目安に交換してください。

部品名	エアフィルター（東芝テクノネットワーク（株）扱い部品）
部品コード	46442660

保管のしかた

1 お手入れの後、本体の水を拭き取り、日かげで乾かす

2 気化フィルターの水をよくきり、日かげで乾かす

メモ　湿ったまま保管するとカビの原因になります。

3 包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせ、湿気の少ない場所で保管する

故障かな？と思ったとき

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

こんなとき	原　　因	参照ページ
蒸気（霧）が出ない･見えない	この製品は気化フィルターに風を当てて湿った空気を送り出す方式のため、蒸気や霧は見えません。	2
ジージーと音がする	気化フィルターを回転させるときの音で、異常ではありません。	—
ときどきピチャピチャと音がする	気化フィルターが回転し、水が落ちる音です。異常ではありません。	—
ときどきポコポコ、ポコンと音がする	タンクの水がトレイにたまるときの音です。異常ではありません。	—
ピコイオン運転中、ジーと音がする	ピコイオンユニットと高電圧発生装置から出る音で、異常ではありません。	6
本体をふるとカラカラ音がする	抗菌ガラス※がケース内で動いたときの音で異常ではありません。	6

こんなとき	調べるところ	処置のしかた	参照ページ
運転しない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか。	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	9
	給水ランプが点灯していませんか。（タンクに水が入っていますか）	タンクに水を入れてください。	8、9
	給水ランプが点滅していませんか。	後パネルが確実に取り付けられていることを確認してください。	11、13
加湿モードランプの「うるおい」か「おまかせ」が点灯しているのに加湿が弱い（風が弱い）	—	部屋の湿度が、設定した加湿モードの湿度より高いため、制御運転をしています。さらに加湿したい場合は「連続」運転を選択してください。	9 10
風の出が少ない	おやすみ運転をしていませんか。	おやすみ運転の場合、ファンの回転を抑えるため、風の出が少なくなります。	9 10
	エアフィルターがホコリで目詰まりしていませんか。	エアフィルターのお手入れをしてください。	13
	気化フィルターに水あかやゴミが付いていませんか。	気化フィルターのお手入れをしてください。	16 17
加湿切換ができない 切タイマー運転ができない	給水ランプが点灯していませんか。（タンクに水が入っていますか）	タンクに水を入れ、給水ランプが消えてから設定してください。	8～11
タンクに水が残っているのに給水ランプが点灯する	トレイが確実に本体に入っていますか。	トレイを確実に本体に入れてください。	14、15
	本体が傾いていませんか。	本体を水平な場所に置いてください。	11
	トレイに直接水を入れたり、タンクやトレイに水を入れたまま持ち運んだりしていませんか。	タンクをはずしてトレイの中の水を捨て、再度タンクをセットしてください。	8 14
湿度が上がらない	「おまかせ」「うるおい」運転をしていませんか。	「おまかせ」「うるおい」運転の場合、騒音を抑えるために、加湿量（風量）を抑えて制御しているため、加湿量が少なくなります。	10
	部屋が広すぎませんか。	適用床面積の範囲でお使いください。	5
	窓や戸を開けていませんか。	窓や戸を閉めてお使いください。	—
においが出る	気化フィルター・エアフィルター・トレイがよごれていませんか。（部屋やタバコのにおいが気化フィルターに付いて、においが出ることがあります）	気化フィルター・エアフィルター・トレイのお手入れをしてください。	12～17
湿度モニターの表示が部屋の湿度計の表示と違う	—	同じ部屋でも空気の流れや、温度差などによって湿度が異なることがあります。湿度モニターは目安としてお使いください。	11
タンクの表面が結露する	—	コップに冷たい水を入れると表面が結露するのと同じ現象です。結露した場合は布などで拭き取ってください。	8
気化フィルターがトレイにセットしにくい	気化フィルターの取り付け方向が間違っていませんか。	気化フィルターの歯車を、トレイの歯車に合わせてセットしてください。	14
本体にトレイを入れるときや引き出すときに水がこぼれる	トレイに気化フィルターが取り付けられていますか。	トレイに気化フィルターを取り付けてください。	14、15

以上に従って調べても原因がわからないときや、その他の異常や故障があるときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
※樹脂部品は数年間使用すると、傷むことがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

※試験機関…………… 一般財団法人　新潟県環境衛生研究所
試験方法…………… 浸漬法により混釈平板培養法で菌数を計測
抗菌の方法………… 水溶性ガラスに銀を含有

抗菌を行っている対象部分の名称… 抗菌ガラス
試験結果……………………………… 99.9%の抗菌効果を確認
（試験番号）　(第200903677-001-MBA号)

保証とアフターサービス 必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-76**

受付時間：365日 9:00〜20:00

携帯電話･PHSなど **022-774-5402**（通話料：有料）

FAX **022-224-6801**（通信料：有料）

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から１年間です。** ただし、エアフィルター、気化フィルターは消耗品ですので、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。
- 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき、無料修理となります。無償商品交換ではありません。

補修用性能部品の保有期間

- 加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後５年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

- 18ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、運転スイッチを押して運転を停止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ		
	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）

愛情点検

長年ご使用の加湿器の点検を！

定期的に「安全上のご注意」「お願い」を確認してご使用ください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ホコリなどの影響によって部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。

こんな症状はありませんか。

電源プラグやコンセントにたまっているホコリは取り除いてください。

- 水漏れする。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさかったりする。
- 異常な音や振動がする。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝加湿器保証書

持込修理

形名		KA-P70X、KA-P50X	
★お客様	お名前	ふりがな 様	
	ご住所	〒□□□-□□□□	
	電話	市外　市内　番号　呼	
保証期間	本体	1年	★お買い上げ日 年　月　日から
★ご販売店	住所・店名 電話		

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝ホームアプライアンス株式会社 ビューティー＆ライフクオリティー事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）　電話（03）3257-5759

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　（イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
　（ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
　（ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
　（ニ）本書のご提示がない場合。
　（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
　（ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
　（ト）消耗部品の交換。
2.出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3.修理のため取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5.ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝生活家電ご相談センターへご相談ください。

修理メモ 修理年月日	修理内容	担当
年　月　日		
年　月　日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝ホームアプライアンス株式会社
ビューティー＆ライフクオリティー事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）
THT-TOCE(TG)